

2025（令和7）年度 栄養学部 総合型選抜4期 小論文試験問題 出題の意図

近年の日本における人口減少の特徴を具体的な統計データを交えて説明している。出生数の減少、死亡数の増加による自然減の拡大、都道府県間の人口移動による社会減、外国人住民の動向など多面的な人口構造の変化を示している。

これらの内容を適切に要約することで、基礎的な読解力と情報整理能力を確認する。そのうえで、人口減少、とりわけ地方における自然減と社会減の重なりによる急激な人口減少が、食料生産・加工・流通・消費といったフードシステムに与える影響を考察させることで、栄養学領域に関連する社会課題を、多角的な視点で捉えられるかを問うている。

以上により、本問題は、人口問題という社会的に重要なテーマを栄養学の視点と関連づけ、思考力・表現力・主体性を総合的に判断することを意図している。